

図書館だより

2022年 6月 353号
 釧路市音別町ふれあい図書館
 編集者/美村由美子 ☎6-3435

今月のふれあい DAY は、
映画会を行います。
「ざんねんないきもの事典」
 日時：6月25日 13:00～
 場所：2F 視聴覚室



↑本の検索、予約はこちらから↑



↑ふれあい図書館 HP ↑



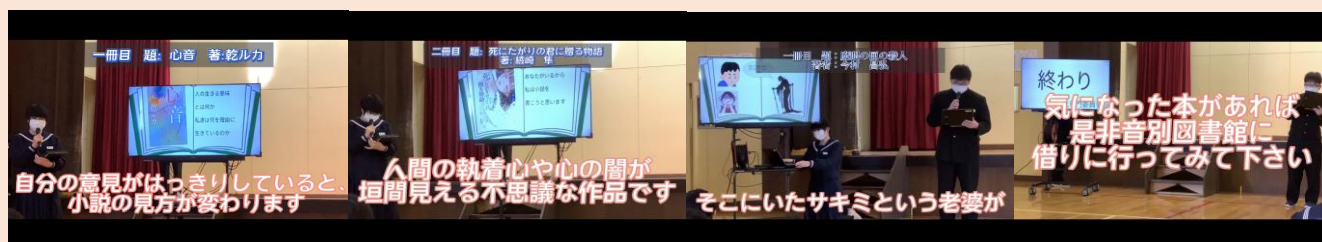
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24 ★ 出前deおはなし会	25 ★ ふれあい DAY
26	27	28	29	30		

【開館時間】午前10時～午後6時 【休館日】月曜日、第3土曜日・日曜日、祝祭日

音別中学校文化専門委員会による小説紹介

音別町ふれあい図書館に蔵書している本の中から、全校生徒に向け本の紹介をプレゼンテーション形式で行われました。

紹介された本を特集として設置していますので、是非足を運んでください。



*

* プレゼンテーションを行っている時の写真です。

今月は【**本屋大賞第1回目～第5回目の大賞**】を集めてみました!!

第1回目「博士の愛した数式」 第2回目「夜のピクニック」 第3回目「東京タワー」
 第4回目「一瞬の風になれ」 第5回目「ゴールテンスランバー」

尚、今年4月14日に発表された本屋大賞の10点は、カウンターに受賞作一覧を掲示しておりますので、興味ある方は是非予約してみてください!!

6月新刊紹介

○一般・実用書

「スリルライフ」 新庄 剛志
天才ではないが、天然でもない
奇想天外な言動の裏に隠された、
「努力」と「人生哲学」とは一

「ディズニーキャストざわざわ日記」
笠原 一郎

「ハッピーなことばかりの仕事
などない」

清掃スタッフが描く、不安と
夢の現場報告

これは私の実体験である

(他にも揃えております。)

○小説

「母の待つ里」 浅田 次郎
生まれ育った場所だけが「ふるさと」で
すか？

あなたを迎えてくれる場所が、ここに
ある。

新たな国民的名作の誕生！

「雨の日には車をみがいて」 五木 寛之
さらば愛しき車たちよ

9人の女性たちを彩る9台の車・・・

時は流れ、ぼくは進む。究極の恋愛小説

(他にも揃えております。)

○児童書

「クイズで国語が好きになる!!」
ことばの由来」

「朝日ジュニア学習年鑑 2022」

「あしたへの翼」

「年金のひみつ」

「しずくちゃん 38」



○絵本

「おはいんなさい えりまきに」

「ハッピーハッピーナースデー！」

「ここがわたしのねるところ」

「ナナちゃんとせんいんさん」

「おともだちべんとう」



今月の“おすすめ”作家

しいな まこと
椎名 誠

(1944年6月14日 東京都生まれ)

「岳物語」(1985年) 「わしらは怪しい雑魚釣り隊」(2008年)

「三匹のかいじゅう」(2013年) 「おなかがすいたハラペコだ。」(2015年) etc

是非、手に取ってみてください。





新刊紹介



(一般教養・実用書)

丸田 香緒里 「犬のいる暮らし」

土屋 守 「ウイスキー完全バイブル」

新庄 剛志 「スリルライフ」

三砂 慶明 「千年の読書」

織田 友理子 「LOVE&SDGs」

弓削 徹 「ネーミングの極意」

瀬戸 佳子 「季節の不調が必ずラク~になる本」

跡見 順子 「ほどよいストレスが人を若くする」

印南 敦史 「書くのが苦手」な人のための

文章術」

谷頭 和希 「ドンキにはなぜペンギンが

いるのか」

フード・アイ 「かんたん! はじめての

フリージング離乳食」

笠原 一郎 「ディズニーキャスト

ざわざわ日記」

郭 樟吾 「人生を成功に導く「しくじり」

のススメ」

(絵 本)

「おはいんなさい えりまきに」

「ハッピーハッピーバースデー!」

「ここがわたしのねるところ」

「ナナちゃんとせんいんさん」

「おともだちべんとう」



(小 説)

浅田 次郎 「母の待つ里」

五木 寛之 「雨の日には車をみがいて」

一穂 ミチ 「砂嵐に星屑」

内田 康夫 「北の街物語」

川上 未映子 「春のこわいもの」

窪 美澄 「朱より赤く」

島本 理生 「はじめての」

曾野 綾子 「人生の決算書」

中山 七里 「鑑定人 氏家京太郎」

西村 京太郎 「土佐くろしお鉄道殺人事件」

林 真理子 「奇跡」

安武 信吾 「はなちゃんのみそ汁 青春篇」

群 ようこ 「おネコさま御一行」

(児童書)

「クイズで国語が好きになる!! ことばの由来」

「朝日ジュニア学習年鑑 2022」

「あしたへの翼」

「年金のひみつ」

「しずくちゃん 38」



☆小説から

浅田 次郎 「母の待つ里」



家庭も故郷もない遠慮世代の3人の男女の
元に舞い込んだ〈理想のふるさと〉への招待。

あなたを迎えてくれる場所が、ここにある。

至高の名作誕生!